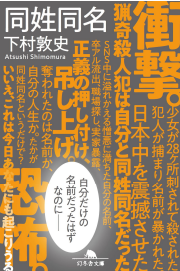


■ 7月のおすすめ本

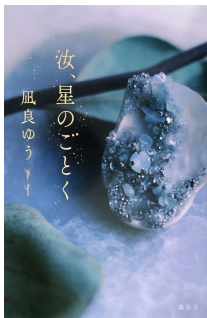
暑い日が続いています。涼しいところで読書をしながら熱中症対策を試みてはいかがでしょうか。

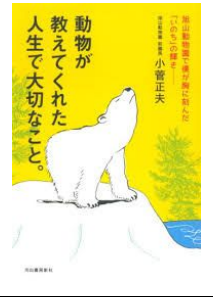
*購入予定です	(図書委員のおすすめ)		
	同姓同名		
	下村 敦史	P376	文庫
	幻冬舎	2020年	
	登場人物の9割が同じ名前。現在のネット社会で注目した方が良いのに注目されない犯罪者と同姓同名の人間におきる生活への影響を書いた本。そんなことありえないと言い切れないリアルさが怖い。名前は自分だけのものという認識が壊れて、曖昧になっていく。		

*購入予定です	(図書委員のおすすめ)		
	殺戮にいたる病		
	我孫子 武丸	P324	文庫
	講談社文庫	2017年	
	叙述トリックがすごい。最初の方は少し違和感だったものがふくらみ、終盤ですべて解決するのが綺麗すぎる。犯人がわかっている状態で読み進めるのに裏切られる。グロイのが苦手な人は読まない方が良いと思う。		

*購入予定です		(図書委員のおすすめ)		
	陰陽師			
	夢枕 獏		P297	文庫
	文藝春秋		1988年	
	短編なので読みやすい。平安時代の闇の中を書いた作品。歴史や和歌の知識があるとさらに読みやすい。晴明と博雅とのかけあいがおもしろい。言い回しが少し独特でくせになる。シリーズ物なので気に入ったら続編も読んでほしい作品。			

*購入予定です	(図書委員のおすすめ)		
	満月珈琲店の星詠み		
	望月 麻衣	P256	文庫
	文藝春秋	2020年	
	満月の夜にだけ現れる満月珈琲店。猫のマスターと店員が極上のスイーツやフードとドリンクで客をもてなす。メニュー表にはなく客にあったものをマスターが出してくれる。また「占星術」で悩めるお客さんの背中を押したり、気持ちが整理でき、読んでいる人も力をもらえる作品。短編だけどところどころにつながりを感じる。		

*図書室にあります	(図書委員のおすすめ)		
	汝、星のごとく		
	凧良 ゆう	P352	文庫
	講談社	2022年	
	「普通とは何か」「正しさとは何か」を恋愛に絡めて描かれている。みんな不器用でそんな人たちと関わって変化していく関係性。最後まで読むと最初のイメージが覆る。文章がとても美しいのでぜひ読んでみてください。		

*購入予定です	先生方のオススメ		*購入予定です
中澤先生のオススメ 北海道釧路市立図書館は、経費節減を目的にして民営化。その初代館長林原信輝のもとへ、なくなった書家の祖母に育てられてきた妹の純香がやってくる。彼女は生活能力はないが書道で天才的な腕前を持つ。ここで地元在住の野心的書家秋津龍生伶子夫妻と出会い……高校の養護教員の伶子に家計と母の介護を依存している秋津は、書道教室の助手として純香を雇う。無垢な存在である彼女が、逆に醜い男女の欲望や嫉妬をあぶり出し、驚きの結末へと誘う心理サスペンス。		石川先生のオススメ 旭山動物園で獣医師・園長を務め、動物の自然な生態を見せる「行動展示」を立案した小菅元園長が著者です。動物と過ごした経験の中で学び考えたことや、渡り鳥が親に教わらずになぜ同じルートを渡れるのかなど、動物の不思議な本能についても書かれている本です。この本を読んでから動物園に行くと、また見方が変わると思います。	
	無垢の領域		
	桜木 柴乃		
	新潮文庫		
	2016年		
	359ページ		
		動物が教えてくれた人生で大切なこと。	
		小菅 正夫	
		河出書房新社	
		2014年	
		224ページ	